

2/18 朝日

# 介護報酬水増し・サービス偽装

## ケアマネ「お手盛り」横行

高齢者が入る施設で、必要なない介護サービスまで提供する「お手盛り介護」が相次いでいる。介護サービスの利用計画（ケアプラン）をつくるケアマネジャー

一ノ瀬一が、施設などの意向に沿って介護報酬を増やす例があるからだ。高齢者に合った介護が提供されず、介護保険の無駄づかいにつながるおそれもある。

「歌ばかり歌わされて。嫌で嫌で」。東京都中野区の有料老人ホームにいた男性は、ホームが運営するサービスが1日7～9時間、週6日びっしり。月に約3万3千円が本人に請求された。

昨年7月の利用明細によれば、ホームが運営するサービスが1日7～9時半まで続いたからだ。

▼2面II施設の縛り  
「歌ばかり歌わされて。嫌で嫌で」。東京都中野区の有料老人ホームにいた男性は、ホームが運営するサービスが1日7～9時半まで続いたからだ。

サービスが、昼食や入浴を挟んで朝9時から午後4時半まで続いたからだ。

サービスが、昼食や入浴を挟んで朝9時から午後4時半まで続いたからだ。

サービスが、昼食や入浴を挟んで朝9時から午後4時半まで続いたからだ。

サービスが、昼食や入浴を挟んで朝9時から午後4時半まで続いたからだ。

サービスが、昼食や入浴を挟んで朝9時から午後4時半まで続いたからだ。

サービスが、昼食や入浴を挟んで朝9時から午後4時半まで続いたからだ。

介護保険は本人が1割、保険が9割を負担する。「要介護4」の男性が使える限度額約30万円いっぱいがつき、ホーム側に介護報酬が支払われた。

まもなく別のホームに移ると、デイサービスはない、週2回の入浴と1回の外出介助ぐらい。請求額は10分の1以下の月約260円に減ったうえ体調も良くなり、介護度は最も軽い

要介護1に改善した。「なぜ施設によってこんなに違

うのか」と驚いた。

これは、前のホームのケ

アマネが作ったケアプラン

がお手盛りだったからだ。

東京都も今年1月に前のホ

ームなどに調査に入り、

「ホーム側のデイサービス

ばかりがついている」と改

善を促した。

プランを作ったケアマネ

は家族にも金わざ、男性の

要望も聞いていなかつた。

朝日新聞の取材に対し、

「前任者のプランをそのまま使った。ホームからもな

るべくつけてと言われ、協

力したかった」と話す。

さらに悪質な例も相次

ぐ。朝日新聞が47都道府県

を調べたところ、この6年

で介護報酬を不正に請求し

たとして50人のケアマネが

資格を取り消されていた。

架空のサービスを偽装した

り、ケアプランを水増し

たりする例が多い。50人の

うち「自ら主導した」が31

人、「(施設など)強要

された」が11人いた。

(松田史朗)

### ケアマネジャー(介護支援専門員)

「要支援1～2」「要介護1～5」の認定を受けた高齢者が介護保険を使ったサービスを受ける際、高齢者と契約し、本人や家族の要望を聞きながら毎月の介護サービス利用計画（ケアプラン）をつくる。2000年に介護保険制度ができた時につくられたが、国家資格ではなく都道府県が認定する。全国で約14万人が働く。

# ケアマネ、施設の奪り

「うちの訪問介護を限度額いっぱいつけてしまい」  
愛知県内のケアマネジャーは、昨年3月、愛知県豊明市にある高齢者施設の社長から求められた。担当していた女性（当時73歳）がこの施設に入った時だ。

国の基準がある有料老人ホームではなく、一戸建てに高齢者を住ませる「無届け施設」で、訪問介護事業も営んでいた。社長は週2回の入浴や部屋の掃除などをサービス内容と回数を細かく指示し、言った。「家賃が安いので、訪問介護で稼がなければいけない」

だが、女性は「外出や散歩ができるプラン」を望んでいて、限度額いっぱいの訪問介護は必要なかつた。社長の要求を断り、女性に届け施設で、訪問介護事業も営んでいた。社長は週